

令和6年度 第1回鎌ヶ谷市文化財審議会会議録

開催日時 令和6年7月26日（金） 午後3時00分～
開催場所 鎌ヶ谷市役所庁舎6階 第2委員会室
出席委員 石神裕之委員長、金出ミチル副委員長、高見澤美紀委員、
大内千年委員、芝崎浩平委員
事務局 後野文化・スポーツ課長、飯村副主幹（事）文化係長、
大竹主任主事、高木主事
傍聴者 0名

1 開会

2 あいさつ

3 会議録書名人の選出について

高見澤委員と芝崎委員に決定した。

4 会議の公開

議題（2）指定・登録文化財の候補については、鎌ヶ谷市情報公開条例第8条第5号に該当することから、鎌ヶ谷市における審議会等の会議の公開に関する指針第3の規定に基づき、当該議題を非公開と決定し、会議録の開示・不開示についても、同指針に基づき当該議題に係る部分を不開示と決定した。

5 議題

協議事項については非公開となった。

（1）報告事項

ア 令和5年度文化財保護主要事業について
事務局より会議資料に沿って説明した。

〔質疑無し〕

イ 令和6年度文化財保護主要事業について
事務局より会議資料に沿って説明した。

〔質疑〕

大内委員：柳坪遺跡は確認調査の時点で旧石器の遺物が出土していたのか。

石神委員長：当初から旧石器時代の遺跡と想定して調査をしていたのか。

事務局：隣接地で平成17年に本調査を実施しており、旧石器・縄文時代の遺構・遺物が出土している。そのため、確認調査では各トレンチで数か所深掘りをして、旧石器時代の遺物の確認を行った。

高見澤委員：野馬除土手の発掘調査について、南鎌ヶ谷では初めての調査で、野馬堀を検出し、調査終了とのことだが、今後この延長線上で調査は行わないのか。また、周辺は開発が続きそうな地域か。

事務局：今回の土地は調査を終了という意味である。今後野馬堀の延長線上で開発が行われるようであれば、調査を実施する。開発頻度については不明である。

金出副委員長：遺跡の範囲や調査履歴についてはどのように管理しているのか。

事務局：文化・スポーツ課の窓口に閲覧用の埋蔵文化財包蔵地地図を設置している。調査履歴はその地図に遺跡範囲や調査済みの土地を色分けして示し、一覧表と対応できるようにしている。一覧表は完了日時、原因者、調査の有無等を記載し、昭和60年頃から情報を蓄積している。しかし、デジタル化はまだ進んでいない。

芝崎委員：市原市は既にGISを使用した埋蔵文化財包蔵地地図のデジタル化が完了しており、職員であれば誰でも確認することができる。埋蔵文化財担当者はより細かい情報を見ることができ、業者からの照会に対応できるようなシステムになっている。

事務局：鎌ヶ谷市では、建築住宅課がGISを使用しているが、他の部署は違うシステムを使用しており、全庁で統一されていない。導入費用が高額なため、導入方法を模索しているところ

である。

芝崎委員：今年度は文化財説明看板をどこに設置する予定か。

事務局：鎌ヶ谷八幡神社境内にある百庚申の看板を更新する予定である。

石神委員長：国史跡下総小金中野牧跡保存整備事業について補正予算の説明があったが、無事に進められるのか。

事務局：補正予算が可決されれば、進められる見込みである。

ウ 国史跡下総小金中野牧跡周知普及事業について

事務局より会議資料に沿って説明した。

〔質疑〕

石神委員長：手芸コーナーとはどういったものを作成するのか。

事務局：国史跡下総小金中野牧跡の周知普及キャラクターののまっきをイメージして、馬の形に切つてあるフェルトに蹄や鞍の形のフェルトをボンドで接着し馬のマスコットを作成した。

エ 国登録有形文化財（建造物）澁谷家住宅保存活用計画の文化庁認定について

事務局より会議資料に沿って説明した。

〔質疑〕

大内委員：登録有形文化財で保存活用計画があるというのは望むべき姿の一つだと思う。

石神委員長：活用に向けたハードルも様々あるかと思うが、市民との協働的な活動として進められると良いと思う。

オ 文化財保存活用地域計画に基づく各種事業の進捗状況について

事務局より会議資料に沿って説明した。

〔質疑〕

石神委員長：先に実施すべき、未実施の項目はあるか。

事務局：庁内他部署との連携を通じた情報発信及びイベント開催の検

討について、前期に検討を実施するとあるため、早めに検討が必要と考えている。商工振興課が今年から商工観光課へと変わり、観光に力を入れているため、連携について模索していきたいと思っている。

石神委員長：ふるさと鎌ヶ谷散策マップのように普及のための資料はあるので、どのように興味をもってもらえるかが課題だと思う。情報発信についてはSNSなどを活用すると充実できると思う。千葉商科大学と撮影した澁谷家住宅の4K3D映像はその後どうなっているか。

事務局：小屋裏の撮影が未実施である。また、撮影データは現在千葉商科大学のサーバー上にあるため、そのまま公開することが難しい。動画等に編集して公開する方法などの提案をいただいた。

芝崎委員：Google Mapのストリートビューが活用できると思う。市原市の博物館内や房総のむらで、Googleに撮影してもらい、中を見ることができるようにしたことがある。

大内委員：文化財部署だけではなく、鎌ヶ谷市として情報発信する媒体に文化財のことを組み込んでいければいいと思う。

高見澤委員：情報発信の充実を行うためには、調査研究の継続的な実施が必要である。市内の文化財の所在、現状把握を調査した上で、データベース化や情報発信の段階に進める。そのため、「歴史的建造物、仏像、戦争遺構の悉皆調査の時期や方策についての検討」を早めに行うべきだと思う。
また、マイクロフィルム化について、以前指摘したようにデジタル化の検討をしてほしい。

事務局：マイクロフィルム化やデジタル化については、将来的な視点を持って郷土資料館と再度話をしていきたいと思う。

金出副委員長：成果指標の表が分かりづらいため、整理してほしい。

大内委員：表記は文化庁の認定を受けた形のため、組み替えることは難しいと思う。内部資料として計画期間を細かく表示したりす

るのはどうか。

また、成果は年度末時点とするほうがよい。

金出副委員長：情報公開について、インターネットで公開した過去の情報が閲覧できると良いと思う。

芝崎委員：成果指標の評価は定量評価と定性評価に分かれてくると思う。表の外でそれを見やすく表現できると良い。

また、期間は年度ごとの標記にするべきだと思う。

事務局：表の見やすさについては検討していきたい。

(2) 協議事項

ア 指定・登録文化財の候補について

事務局より会議資料に沿って説明した。

〔協議内容〕 非公開

(3) その他

ア 事務局より報告

- ・菊同好会による澁谷家住宅畑部分の活用について
- ・大込土手について
- ・おしゃらく踊りの鎌ヶ谷駅前夏まつり、市民まつりへの出演について

閉会

【会議終了】以上

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証する。

令和 7 年 2 月 1 0 日

署名人 高見澤 美紀
芝崎 浩平